

自ら学び豊かな心で たくましく生きる生徒

しただの郷学園
下田中学校便り第3号
令和4年6月16日発行



文責 校長 小林貴英

ホームページではカラー
でご覧いただけます。→



下田ワクワク活動

活動制限が続いてきた2年間でしたが、今年度は少しずつ活動できるようになってきています。そこで心がワクワクする活動をやろうと各学年が企画しました。3年生は、延期している修学旅行を9月に控えており、今回は1・2年生の活動です。テーマは、下田を感じることで、新しい経験をすること、各分野で活躍する大人の思いを知ることです。

1年生 大谷ダムでブルーギル釣り体験

五味川秋男さん（ブラックバス問題新潟委員会）、樋口正仁さん（生物多様性ネットワーク新潟）らの指導の下、特定外来生物“ブルーギル”を釣りました。

自然環境を守るための釣りがスタート



エサのミズに触れる生徒はまれです。

体長は15cm 前後



釣った魚を食べるところまで
が今回の学習です。

ハサミでヒレを
切り落とします。



1時間半で121匹を釣り上げました。

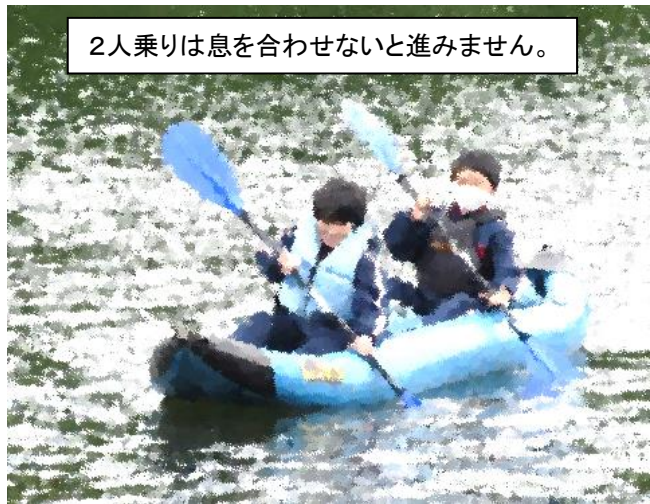


唐揚げの準備はしましたが、
大雨で食べるのは中止でした。



2年生 大谷ダムでカヌー体験

オリンピックの^{とうめ たかのり}當銘孝仁さん、三条市スポーツ協会の岩瀬晶伍さんからカヌーの乗り方を教えてもらいました。水の上で楽しい時間を過ごすことができました。



難易度が高いカヌーへの挑戦者。



バランスが取れない！



ふるさと学習スタート

滝沢市長が来校し、
3年生へ協力依頼



私の切実な思いを聞いてほしい！

国道 289 号（八十里越道路）の開通が間近。福島、東北、関東から多くの観光客がやって来る。その人たちが立ち寄りたくなる下田をいかにしてつくってあげればいいだろうか。ずっと考えてきたが「これだ！」というものが思いつかない。

そこで下中 3 年生からのアイデアが欲しい。ポイントは次の 3 つ。

- ①多くの人が集まるフェス・イベントを考える。
 - ②自然を楽しめる旅行ツアーを考える。
 - ③「下田郷のお土産と言えこれ！」と思えるお土産を考える。
- 良いアイデアは実際に市の事業として実現させる。

続いて…

澤正史(三条市 CMO)からマーケティング入門
マーケティングの手法や考え方を教えてもらいました。

- ◆マーケティングとは、価値ある商品やサービスを創り、伝え、届け、取引する仕組みや活動。
- ◆私たちに何ができるか、誰をターゲットにするか。



下田の PR 方法を考え始めています。



出されたアイデアは

否定しません。



ブレイン・ストーミングで

アイデアを出し合います。



最後に

アイデアを共有します。

中学生だからこそ思いつくアイデアで下田の活性化をねらいます。

7 月には市役所営業戦略室の担当者が来校し、3 年生に活動の進め方をレクチャーします。
1・2 年生のふるさと学習も、それぞれのテーマでもうすぐスタートします。
11 月 19 日（土）の発表会には、大勢の保護者、地域の皆様の御来校をお待ちしています。

中越地区大会 激励会 6月10日

マスクでの練習を続けてきた運動部の最後の戦いが6月14日（火）から始まりました。激励会では、応援団だけが声を出すこととし、全校生徒は拍手で気持ちを伝えました。各部が目指す目標到達に向け、立ちほだかる壁を突破してくれることを期待しています。

選手入場



力強い演奏で盛り上げます。



各部の決意表明



選手宣誓



心を込めた手拍子応援でした。



下田中絆纏を着て
応援団が頑張ります。

